

平成30年度
事務事業別予算概要書

(消防局関係)

平成30年度事務事業シート(計画)目次

大綱	目標	施策	事務事業番号	事務事業名	所属名	掲載ページ
第2節	安全で安心な暮らしを地域で支えあうまち -安心づくり-					
	③災害や犯罪などのリスクに強い安全なまち					
	2-9 迅速に対応できる消防・救急・救助体制の充実					
	209	2	消防庁舎等整備事業	消防総務課	1
	209	4	消防団活動事業	消防総務課	2
	209	5	消防団施設等整備事業	消防総務課	3
	209	8	常備消防車両等整備事業	警防課	4
	209	9	消防水利整備事業	警防課	5
	209	11	消防通信一般事務	指令課	6
	209	12	予防一般事務	予防課	7
	209	14	消防署施設等管理事業	東広島消防署・竹原消防署・大崎上島消防署	8

平成 30 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	209 - 2	新規・継続	新規
事務事業名	消防庁舎等整備事業	一般会計	9 款	1 項	3 目
所 属	消防局 消防総務課 消防総務係	総合計画施策体系	2 - 9		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	消防庁舎の長寿命化、女性消防吏員の活躍推進及び職場衛生環境の改善を図るとともに、消防需要の増加等に対応するため新たに消防署を整備することにより、消防力の維持強化を図る。						
対 象 (誰・何を対象に)	市民及び消防職員						
事業の概要 及び H30活動計画	<p>1 北分署庁舎の改修(6,500千円)</p> <p>(1) 事業概要 ア 仮眠室の個室化(男性用10室、女性用1室〔ユニットバス、洗面所、トイレを含む〕) イ 施設の長寿命化を図るための改修工事 ウ 雨漏りに係る改修工事</p> <p>(2) 事業スケジュール 平成30年度 改修設計 平成31年度 改修工事</p> <p>(3) 庁舎規模等 構造規模:鉄骨造2階建 敷地面積:2,340.74㎡ 延床面積:420.74㎡ 建築年月:平成10年4月</p> <div style="text-align: right;">  <p>北分署外観</p> </div> <p>2 西分署出動表示灯の増設(2,440千円) 通行車両からの視認性が低い緊急車両出入口の安全性の向上を図るため、出動表示灯を増設する。</p> <p>【新】3 (仮称)東広島消防署高屋分署の整備(119,850千円)</p> <p>(1) 事業概要 消防需要増加への対応、災害現場への到着時間等の短縮及び市全体の消防力の向上を図るため、新たに高屋地区へ消防署を整備し、平成33年4月の運用開始を目指す。</p> <p>(2) 事業スケジュール 平成30年度 用地取得、敷地造成設計、建築設計着手 平成31年度 造成工事、建築工事着手 平成32年度 建築工事完了、外構工事、車両整備 平成33年度 運用開始</p> <p>(3) 庁舎規模等 構造規模:鉄骨造2階建 敷地面積:約3,500㎡ 延床面積:約650㎡</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	消防庁舎の長寿命化を図るための改修に併せて、女性消防吏員の活躍推進及び感染症の蔓延防止等職場衛生環境の改善を目的として女性用仮眠室の整備を含む仮眠室の個室化を実施していくため、仮眠室の個室化率を成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	-年度 (目標値)
	仮眠室の個室化率	%	-	-	46.3		100.0

3 コスト情報

		28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	18,528 千円	千円	128,790 千円	千円
	財源内訳	1,185 千円	千円	千円	千円
	国県支出金	千円	千円	119,100 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	17,343 千円	千円	9,690 千円	千円

平成 30 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	209 - 4	新規・継続	新規
事務事業名	消防団活動事業	一般会計	9 款	1 項	2 目
所 属	消防局 消防総務課 消防団係	総合計画施策体系		2 - 9	

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	火災等から市民の生命、身体及び財産を守るという消防団の責任を果たすため、消防技術の向上を図るとともに、消防団活動の安全性を高めることにより、地域防災力の充実強化を図る。				
対 象 (誰・何を対象に)	消防団員(条例定数1,637人)				
事業の概要 及び H30活動計画	<p>1 団員報酬(40,847千円) (1) 定数1,637人(平成30年1月1日現在1,597人) (2) 班長及び団員の報酬の年額を引き上げる。(3,874千円)</p> <p>2 退職報償金(58,096千円) (1) 退職報償金支給に係る掛金(1,637人分) (2) 退職報償金(57人分)</p> <p>3 消防団員の出勤・訓練手当(32,347千円) (1) 災害出勤に係る費用弁償 (2) 訓練・研修等の参加に係る費用弁償</p> <p>4 教育・訓練等の推進(942千円) (1) 広島県消防学校・消防大学校の教育訓練を受講する。 (消防学校38人・消防大学校1人) (2) 安全管理セミナー、新入団員研修、女性団員研修、機関員養成講習会等を実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小型ポンプ操法訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>救護活動訓練</p> </div> </div> <p>5 活動服等の安全装備品の整備・更新(9,757千円) (1) 活動服、活動靴、ヘルメット、雨衣等の整備更新を行う。 (2) 安全装備品として、新たに防火衣を配備する。(90着)</p> <p>6 消防団員互助会負担金等(5,027千円) 消防団員互助会、広島県消防協会、消防大学校への負担金等</p>				
活動・結果指標	活動・結果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)
	消防団員の充足率(翌年度4月1日現在)	%	96.3	98.0	98.0
	災害出勤及び訓練・研修に参加した延べ団員数	人	12,171	-	-
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	消防団活動事業は、消防団の消防技術の向上と活動の安全性の向上により地域防災力の充実強化を図ることを目的としており、数値をもって成果を計ることは困難である。				
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)
				30年度 (実績値)	31年度 (目標値)
				達成率	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	134,106 千円	138,287 千円	147,016 千円	千円
	財源内訳	千円	千円	千円	千円
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	26,152 千円	26,630 千円	26,630 千円	千円
	一般財源	107,954 千円	111,657 千円	120,386 千円	千円

平成 30 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	209 - 5	新規・継続	継続
事務事業名	消防団施設等整備事業	一般会計	9 款	1 項	3 目
所 属	消防局 消防総務課 消防団係			総合計画施策体系	2 - 9

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	火災等から市民の生命、身体、財産を守るとい消防団の責任を果たすため、消防団の施設・設備(格納庫・車両・ポンプ・資機材等)の整備及び更新を行い、地域防災力の充実強化を図る。						
対象 (誰・何を対象に)	消防団(46分団)						
事業の概要 及び H30活動計画	<p>1 消防団統合格納庫の整備(26,065千円)</p> <p>(1) 事業概要 第三方面隊高屋西第二分団(高屋町)統合格納庫の新築工事を実施する。</p> <p>(2) 施設概要 構造規模:鉄骨造2階建 延床面積:約100㎡</p> <p>(3) 事業スケジュール 平成30年12月 新築工事完了予定</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">  <p>統合格納庫(参考写真)</p> </div> <p>2 消防団車両(小型動力ポンプ付積載車)の更新及び資機材の整備(23,433千円)</p> <p>(1) 事業概要 小型動力ポンプ付積載車3台及びホース等の資機材を更新する。</p> <p>(2) 車両更新対象分団 第六方面隊福富西分団(福富町)、第七方面隊豊栄第一分団(豊栄町)、第八方面隊河内東分団(河内町)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">小型動力ポンプ付積載車(参考写真)</p>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)		
	統合格納の整備数。()内は設計数	施設	1	(1)	1		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	消防団の災害対応力の向上を図るため、分散、老朽化した狭隘な格納庫を統合し、車庫や待機室、トイレを備えた統合格納庫の整備を進めるとともに、更新基準年数を経過した消防団車両を計画的に更新している。 統合格納庫については、1分団1統合格納庫を目標としていることから統合格納庫の延べ整備数を、消防団車両については、計画的な更新を目標としていることから更新台数を成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	統合格納庫延べ整備数	施設	25	-	26		45
	消防団車両の更新台数	台	1	3	3		-

3 コスト情報

		28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	52,730 千円	41,078 千円	51,698 千円	千円
	財源内訳	31,785 千円	千円	千円	千円
	国県支出金	15,400 千円	32,700 千円	46,400 千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	5,545 千円	8,378 千円	5,298 千円	千円

平成 30 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	209 - 8	新規・継続	継続
事務事業名	常備消防車両等整備事業	一般会計	9 款	1 項	3 目
所 属	消防局 警防課 警防係・救急救助係			総合計画施策体系	2 - 9

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	各種災害対応に万全を期するため、更新基準を超過した車両の整備及び更新を計画的に行い、消防・救急・救助体制の充実強化を図る。						
対象 (誰・何を対象に)	東広島消防署、竹原消防署、大崎上島消防署及び各分署						
事業の概要 及び H30活動計画	<p>1 常備消防車両の整備及び更新(68,184千円)</p> <p>(1) 事業概要 「東広島市消防局消防車両整備更新計画」の更新基準に基づき、消防・救急車両の整備及び更新を行う。</p> <p>(2) 整備更新車両 高規格救急自動車(東広島消防署・竹原消防署)</p> <p>(3) 事業費 高規格救急自動車(34,092千円×2台)</p>						
							
	高規格救急自動車(参考写真)						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	「東広島市消防局消防車両整備更新計画」に基づき更新基準を超過した車両を順次更新することにより消防力の充実強化を図ることを目標としていることから、車両の整備更新台数を成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	消防自動車の更新台数	台	3	1	-		-
	高規格救急自動車の更新台数	台	-	2	2		-

3 コスト情報



		28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	267,680 千円	125,592 千円	68,184 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	12,814 千円	千円	千円	千円
	地方債	222,400 千円	83,100 千円	18,700 千円	千円
	その他	31,042 千円	13,585 千円	49,406 千円	千円
	一般財源	1,424 千円	28,907 千円	78 千円	千円

平成 30 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	209 - 9	新規・継続	継続
事務事業名	消防水利整備事業	一般会計	9 款	1 項	3 目
所 属	消防局 警防課 警防係	総合計画施策体系			2 - 9

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	消防水利施設(耐震性貯水槽・消火栓)を整備し、消防力の充実強化を図る。						
対象 (誰・何を対象に)	市民						
事業の概要 及び H30活動計画	<p>1 耐震性貯水槽の整備(46,340千円)</p> <p>(1) 事業概要 消防水利を確保するため、耐震性貯水槽5基を整備する。</p> <p>(2) 規格 耐震性貯水槽40m³</p> <p>(3) 対象箇所及び設置数 志和町3基、豊栄町2基</p> <div style="text-align: right;">  <p>耐震性貯水槽40m³(参考写真)</p> </div> <p>2 消火栓の整備(40,920千円)</p> <p>(1) 事業概要 消防水利を確保するため、消火栓の新設・更新及び増口径を行う。</p> <p>(2) 内訳 新設:9基 更新:22基 増口径延長:4,209m</p> <p>(3) 対象箇所 西条町、志和町、高屋町、黒瀬町、安芸津町</p> <div style="text-align: right;">  <p>消火栓の新設・更新(参考写真)</p> </div>						
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	消防水利施設を整備することにより消防力の充実強化を図ることを目標としていることから、耐震性貯水槽及び消火栓の整備数を成果指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	耐震性貯水槽の整備数	基	5	5	5		-
	消火栓の整備数	基	35	35	31		-

3 コスト情報

		28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	68,851 千円	69,345 千円	87,260 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	10,772 千円	千円	13,465 千円	千円
	地方債	23,800 千円	36,900 千円	30,800 千円	千円
	その他	千円	千円	千円	千円
	一般財源	34,279 千円	32,445 千円	42,995 千円	千円

平成 30 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	209 - 11	新規・継続	継続
事務事業名	消防通信一般事務	一般会計	9 款	1 項	1 目
所 属	消防局指令課 第1指令係・第2指令係	総合計画施策体系	2 - 9		

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	通信指令システム、消防無線等の維持管理を適切に行い、安定して稼働させることにより、市民からの通報を確実に受信するとともに、指令業務を迅速かつ的確に行うことを目的とする。				
対 象 (誰・何を対象に)	東広島市、竹原市及び豊田郡大崎上島町に居住する者。また、この地域内において発生した災害に際し、119番通報をする者				
事業の概要 及び H30活動計画	<p>1 指令業務 受信した災害種別及び災害場所等の情報を正確に収集し、これらの情報を基に消防隊への迅速かつ的確な出動指令を行う。 発信地表示使用料金ほか電信電話料(11,568千円)</p> <p>2 機器管理業務 消防業務の基幹である指令システム、無線機器等を常に万全な状態で運用できるよう維持管理を行う。 高機能消防指令センター保守管理及び消防無線設備保守点検(36,309千円)</p> <p>3 データ保守業務 指令システムの定期的なデータメンテナンス作業を行うことにより、常に最新データ及び情報を確保する。</p> <p>4 高機能消防指令センター更新業務 平成32年度運用開始に向けて高機能消防指令センターの基本仕様書の作成など、更新整備に着手する。 契約支援業務(2,690千円)</p>				
					
	高機能消防指令センター				
活動・結果指標	【活動・結果指標名】	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)
	119番通報受信件数	件	13,778	-	-
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	指令業務は119番通報による情報収集及び活動部隊への情報伝達を迅速かつ的確に行うことを目的としていることから、数値をもって成果を計ることは困難である。				
成果指標 (目標達成状況等)	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)
				(実績値)	達成率
					(目標値)
					(目標値)

3 コスト情報

		28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	55,497 千円	59,808 千円	58,846 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	2,200 千円	千円
	その他	9,204 千円	9,201 千円	9,055 千円	千円
	一般財源	46,293 千円	50,607 千円	47,591 千円	千円

平成 30 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	209 - 12	新規・継続	継続
事務事業名	予防一般事務	一般会計	9 款 1 項 1 目	ソフト
所 属	消防局 予防課 予防係・指導係・査察係		総合計画施策体系	2 - 9

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	市民の防火・防災意識の高揚を図るとともに、防火対象物(建築物)及び危険物施設等の安全性を確保し、火災のない安全安心なまちづくりを推進する。													
対象 (誰・何を対象に)	市民及び事業所													
事業の概要 及び H30活動計画	<p>1 火災予防啓発活動(1,271千円) 火災の発生を防止し、火災による死傷者の発生や財産の損失を防ぐことを目的として、啓発活動を実施する。</p> <p>(1) 広報紙や新聞、FMラジオなどを活用した火災予防広報 (2) 事業所等を対象とした初期消火競技大会 (3) 危険物施設を対象とした消防訓練</p>													
	<p>2 消防・防災フェア(1,072千円) 幼少年期からの防火・防災意識の高揚を図るため、体験型のイベントとして『消防・防災フェア』を開催する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">火災</td> <td>・消火器の操作体験及び消防ホースでの放水体験 ・VR (バーチャルリアリティ) による避難体験</td> </tr> <tr> <td>救急</td> <td>・応急手当 ・AEDの使い方コーナー</td> </tr> <tr> <td>救助</td> <td>・ロープ登り、ロープ渡りの体験 ・はしご車搭乗体験</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>・震度7までを体験できる地震体験 ・広島地方気象台による「地震・津波」の講演</td> </tr> <tr> <td>集中豪雨</td> <td>・降雨体験</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">集中豪雨災害に備えるための体験施設(水圧体験(ドアの開閉・流水での歩行))</p>				火災	・消火器の操作体験及び消防ホースでの放水体験 ・VR (バーチャルリアリティ) による避難体験	救急	・応急手当 ・AEDの使い方コーナー	救助	・ロープ登り、ロープ渡りの体験 ・はしご車搭乗体験	地震	・震度7までを体験できる地震体験 ・広島地方気象台による「地震・津波」の講演	集中豪雨	・降雨体験
	火災	・消火器の操作体験及び消防ホースでの放水体験 ・VR (バーチャルリアリティ) による避難体験												
	救急	・応急手当 ・AEDの使い方コーナー												
	救助	・ロープ登り、ロープ渡りの体験 ・はしご車搭乗体験												
地震	・震度7までを体験できる地震体験 ・広島地方気象台による「地震・津波」の講演													
集中豪雨	・降雨体験													
<p>3 火災予防査察(立入検査)による違反是正の推進(229千円) (1) 建築物や危険物施設への立入検査を実施する。 (2) 消防法令に違反している建築物及び危険物施設等への行政指導を実施する。</p>														
<p>4 防火対象物(建築物)・危険物施設等の審査及び検査(4,635千円) 建築物や危険物施設について、消防用設備等(消火設備・警報設備・避難設備)が消防法令に基づき設置されるよう、図面審査及び完成時等の検査を実施する。</p>														
<p>5 予防・危険物研修(205千円) (1) 消防用設備、違反是正、危険物等の事務について、高度な知識や技術を習得するため、外部機関が実施する研修を受講する。 (2) 予防に関する知識及び技術の向上を目指して、予防調整会議及び研修会を実施する。</p>														
活動・結果 指標		単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)									
	消防・防災フェア来場者数	人	3,300	4,000	6,000									
	立入検査及び行政指導件数	件	648	700	750									
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	<p>予防事業は、多様な手段による火災予防情報の発信や体験型のイベント「消防・防災フェア」の開催により、更なる市民の防火・防災意識の高揚を図ることを目的としている。 また、建築物や危険物施設についても、立入検査等により市民が利用する施設の安全性の確保を目指していることから、数値をもって成果を計ることは困難である。</p>													
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	32年度 (目標値)							

3 コスト情報

		28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (予算)	31年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	2,466 千円	3,710 千円	7,412 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	2,466 千円	3,710 千円	7,412 千円	千円
	一般財源	千円	千円	千円	千円

平成 30 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

		事務事業番号	209 - 14	新規・継続	継続
事務事業名	消防署施設等管理事業	一般会計	9 款	1 項	3 目
所 属	消防局 東広島消防署(西・南・東・北・安芸津分署を含む)、竹原消防署(忠海分署を含む)、大崎上島消防署		総合計画施策体系	2 - 9	

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	消防体制を維持するため、消防活動に必要な資機材及び車両等の整備並びに各消防署庁舎を適切に維持管理するとともに、防災センターを充実し、市民の防火・防災意識の高揚を図る。						
対象 (誰・何を対象に)	消防活動に必要な資機材及び車両等並びに各消防署庁舎及び防災センター						
事業の概要 及び H30活動計画	<p>1 消防資機材の整備・更新(42,673千円) (1) 資機材等の購入 (2) 資機材及び車両の修繕等</p> <p>2 消防署庁舎の維持管理(30,132千円) (1) 施設・設備の保守点検 (2) 施設・設備の修繕等</p> <p>3 防災センターの整備(1,296千円) 新たに仮想現実の技術を活用し、「火災現場からの避難行動」を疑似体験できる避難体験VR(バーチャルリアリティ)を整備する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>防災センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>避難体験VR</p> </div> </div>						
活動・結果 指 標	単位	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)			
防災センター利用者数	人	5,310	5,500	6,000			
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	防災センターは、各種災害の疑似体験等を通じて市民の防火・防災意識の高揚を図ることを目的としていることから、数値をもって成果を計ることは困難である。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	30年度 (目標値)	31年度 (目標値)	一年度 (目標値)

3 コスト情報

		28年度(決算)	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	59,972 千円	71,955 千円	74,101 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他	42,984 千円	45,211 千円	42,447 千円	千円
	一般財源	16,988 千円	26,744 千円	31,654 千円	千円